

# うっしっしいー情報2022

5月市



豊岡農業改良普及センター

5月11日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が74万1千円、雌が76万でした。

普及センター調べ（税込価格）  
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	6	0.905	699,600	6	0.783	596,933	12	648,267
丹波篠山	13	0.928	778,038	6	0.795	732,600	19	763,689
丹波	29	0.986	789,648	24	0.852	745,158	53	769,502
朝来	11	1.015	810,700	6	0.823	781,733	17	800,476
播磨	19	0.920	701,395	15	0.839	756,140	34	725,547
美方郡	48	0.913	708,675	45	0.849	806,887	93	756,197
豊岡	9	0.933	712,678	18	0.869	767,311	27	749,100
養父	19	0.930	767,395	14	0.877	768,429	33	767,833
摂津・神戸	20	0.949	743,215	16	0.873	708,469	36	727,772
県北C	16	0.934	716,375	2	0.843	696,300	18	714,144
市場全体	190	0.940	741,018	152	0.850	759,876	342	749,399

# 5月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸若土井	41	0.959	789,854	29	0.857	790,597	70	790,161
2	忠味土井	22	0.900	684,850	21	0.820	840,819	43	761,021
3	丸池土井	19	0.930	780,189	14	0.856	732,207	33	759,833
4	丸春土井	10	0.967	778,250	3	0.836	690,800	13	758,069
5	芳悠土井	11	1.024	776,500	10	0.882	726,110	21	752,505
	総計	190	0.940	741,018	152	0.850	759,876	342	749,399
6	藤彦土井	11	0.935	748,700	11	0.883	726,500	22	737,600
7	照忠土井	14	0.922	708,714	14	0.840	754,129	28	731,421
8	茂和美波	5	0.880	709,940	5	0.853	748,440	10	729,190
9	照和土井	22	0.961	723,650	23	0.856	717,248	45	720,378

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

## ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸若土井	A	A++	A++	A	A++	A++ → A+
2	忠味土井	B	A+	A	A → B	A+	A++ → A+
3	丸池土井	D → C	A+++ → A++	D	B	A++	A++
4	丸春土井	B → C	A	B → C	B	A	A++
5	芳悠土井	A	B	B	B	B	A++
6	藤彦土井	A++	A++ → A+	A → B	D	C → D	A+
7	照忠土井	B → C	A++	A	A+	A++	A
8	茂和美波	B	A++	C	B	A+	A
9	照和土井	A+	A+	C → A	B → A	A	A+

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和4年2月現在)

# 適切な追加哺乳できていますか？

## 〇はじめに

みなさん、適切な追加哺乳できていますか？市場出荷に向けて、子牛の飼養管理に取り組んでいると思います。特に但馬牛は他県の和牛に比べて泌乳量が少なく、発育の良い子牛をつくるためには、追加哺乳が欠かせません。追加哺乳の効果を十分に発揮できるよう、今一度、気を付けるべきポイントについて確認しましょう。

## 〇追加哺乳はなぜ必要？

追加哺乳を行う理由として、初産牛や産次数が進んだ個体では泌乳量が少なく、母乳だけでは子牛への栄養が足りない場合があります。また、母性が低い母牛は子牛に哺乳するのを嫌がる傾向があります。この場合、子牛は母乳を十分に飲めず、体に栄養が行き渡らないため、免疫機能が低下し病気になりやすくなります。その結果、発育が停滞してしまい、発育不良の原因になります。健康で元気な子牛をつくるために、適切な追加哺乳を行いましょ。

## 〇追加哺乳のポイント

追加哺乳を実施するにあたり、特に気を付けるべきポイントとして、①代用乳の希釈倍率、②給与温度、③哺乳器具の衛生管理について、お話しします。

### ① 代用乳の希釈倍率

追加哺乳用の代用乳を作る時、決められた希釈倍率を守っていますか？メーカーによって希釈倍率は5倍や、8倍などそれぞれですが、**希釈倍率どおりの代用乳を与えることが大切です**。濃い代用乳も、薄い代用乳も栄養の吸収が悪くなります。

例えば、400g に対して5倍の希釈倍率で代用乳を給与する場合、適切なお湯の量は2Lです。濃い代用乳を給与した方が効率的に栄養を摂取できるのでは？と考える方がいるかもしれませんが、しかし、濃い代用乳は、かえって栄養の吸収を悪くしてしまいます。

なぜ栄養の吸収が悪くなるのかというと、浸透圧が関係しています。浸透圧は、濃度を一定に保とうとして水分が移動する力のことであり、濃度の低い方から高い方へ水分が移動します。つまり、**濃い代**

**用乳を与えると、小腸の水分が濃い代用乳の方へ移行してしまいます**（図1）。そのため、小腸から代用乳を吸収できず、消化不良を起こし、下痢として体外に排出されます。希釈倍率に合わせた代用乳を給与すると、小腸から吸収されやすくなります（図2）。

**メーカーが定めている希釈倍率（推奨倍率）は、子牛が代用乳に含まれる栄養を、小腸から効率良く吸収するために決められています**。追加哺乳を行う際は、きちんと希釈倍率を守りましょう。また、代用乳だけではなく水を飲まなければ脱水や下痢の可能性が高まるので、十分に水を飲める環境にしましょう。

### ② 給与温度

子牛に代用乳を給与する時の最適な温度は、夏冬問わず、**子牛の体温に近い温度（39～40℃）**です。手間はかかりますが、代用乳を給与する際は、毎回温度を確かめるようにしましょう。また、代用乳を溶かす際の注意点として、**60℃以上の高温で溶かすと、たんぱく質が変性するため、消化・吸収が悪くなります**。代用乳を溶かすお湯の温度に気を付けましょう。

### ③ 哺乳器具の衛生管理

細菌やウイルスによる感染を防ぐために、哺乳器具の衛生管理は十分に行う必要があります。どのような牛舎でも、多種多様な細菌やウイルスが存在しており、様々な経路から子牛の体内へ侵入する可能性があります。特に、病原性微生物が新生子牛の体内に侵入すれば、下痢や呼吸器病といった様々な疾病をもたらすことがあります。そのため、**追加哺乳で使用する哺乳瓶は、しっかりと洗浄、消毒を行い、清潔に管理しましょう**。特に、母乳を飲むことができず、代用初乳を使う場合には、**徹底した衛生管理が必要です**。

使用後の哺乳器具は、「**すすぎ→中性洗剤による洗浄→消毒液に浸漬→すすぎ→乾燥**」の手順で管理しましょう。代用乳に含まれるたんぱく質は、熱で変性し、凝固する性質があるため、洗浄は可能な限りぬるま湯で行います。哺乳瓶洗浄用ブラシや、フィッティングブラシを用いて、丁寧に洗浄した後に、消毒液に浸漬、すすぎ、乾燥し、使用前には再びよくすすぎましょう（写真）。



写真：哺乳瓶洗浄用ブラシ

## 〇最後に

追加哺乳を実施するときに気を付けるポイントとして、①代用乳の希釈倍率②給与温度③哺乳器具の衛生管理を挙げました。この他に、子牛の要求量に見合った給与量、また、給与時間などに気を付けましょう。哺乳期の子牛は代用乳の濃度や温度が少し変化するだけで体調に影響が出ます。**発育の良い子牛をつくるために、毎日同じ代用乳濃度、子牛の体温に近い牛肌温度(^\_^)、給与時間で追加哺乳を実施しましょう**。また、哺乳器具の衛生管理も十分に行い、子牛の体内に病気を持ち込まないようにしましょう。

### ポイント

- 発育の良い子牛をつくるために、毎日同じ代用乳濃度、牛肌温度(^\_^)、給与時間で追加哺乳を行いましょ。
- 高濃度や、低濃度の代用乳は、子牛が小腸で栄養を吸収しにくくなるため、推奨倍率を守りましょ。
- 適切な給与温度は、子牛の体温と近い温度（39～40℃）です。
- 哺乳器具は、消毒、洗浄を十分に行い、徹底した衛生管理を実施しましょ。

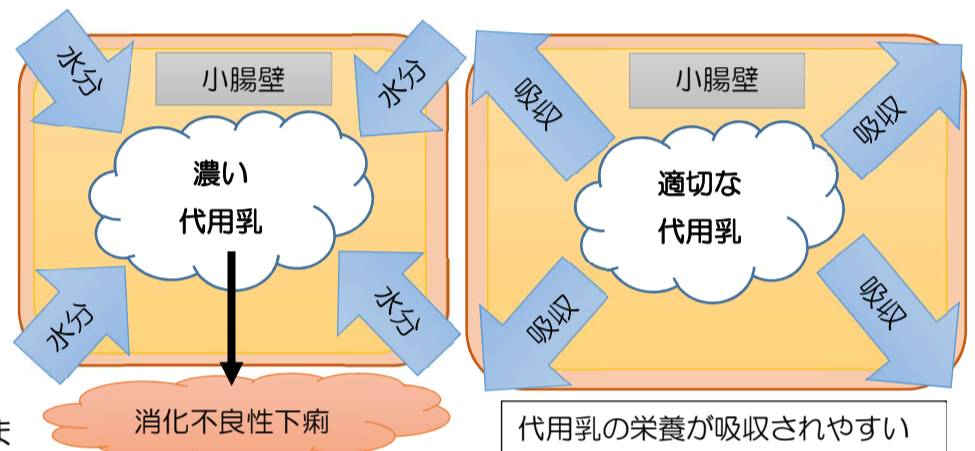


図1：濃い代用乳を給与した場合 図2：適切な代用乳を給与した場合